

アグリハートセンターOPEN!

旧北海道小清水高等学校跡地に建設していましたが『小清水町アグリハートセンター』として4月9日(土)にオープンしました。

平成31年4月に策定した『小清水高等学校閉校跡地活用基本構想』に基づき、地域を担う多くの人材を育ててきた小清水高等学校の精神を受け継ぎ、『地域の学びの場を新たなステージへ 小清水の未来を育む拠点づくり』をテーマに、新たな産業、雇用、人々を育てるための拠点施設として整備したものです。



施設の機能

交流室・テラス

センターハウスには、メモリアル広場と南側景観との繋がりを意識した交流室とテラスを配置し、訪れた人々に憩いと交流の場として利用いただけます。



スタッフルーム

農作業支援スタッフの活動拠点です。町内全域の圃場へ農作業支援に行くスタッフのミーティングや作業準備に活用します。

教室・宿泊室

農業者や農業研修生を育成する担い手養成学校運営のための教室を2室配置しています。農業研修、農業体験ツアー、短期雇用支援スタッフ向けの宿泊室を13室設け、滞在型の研修や就労を実現します。



商品開発室・キッズルーム

個人・グループを問わず、地域の皆さんが食品の製造や開発研究にご利用いただけます。農業研修、農業体験ツアー、短期雇用支援スタッフ向けの視界が良く、お子様の様子を見ながら作業をすることが可能です。



商品製造室

町の特産物による加工品を商用に製造・販売するための工場です。じゃがいもスイートポテトや特産物を活用した新商品を製造します。



メモリアル広場・外構・駐車場

植栽を設けることで景観との一体化を図りつつ、小清水高等学校の校門、記念碑や記念樹などの面影を随所に残し、歴史を未来に継承します。駐車場は24台の駐車が可能で、歩道をロードヒーティングにすることで利便性を高めています。

センターの名前の由来

『農業(アグリカルチャー)』+小清水高校校訓「望岳拓心」の「心(ハート)」を合わせ、農業に携わる多くの人々が心を通わせ集う場所になってほしいという思いを込めて命名されました。センターの愛称は「フェリーチエ」で、イタリア語で「幸福」という意味です。

センターの概要

- ・センターハウス
- 鉄筋コンクリート造一部2階建て 1,765.48㎡
- ・温泉熱利用型園芸ハウス
- 軽量鉄骨造 291.6㎡×2棟
- ・メモリアル広場 約1,260㎡
- ・駐車場 約4,835㎡
- (普通車21台、バリアフリー3台、駐輪場ほか)

センターの運営と今後の展開

アグリハートセンターは、(株)小清水農業振興公社が運営します。センターで展開される事業については、農業担い手育成プロジェクト協議会を中心に、農作業支援、担い手養成学校、特産物を利用した新商品の開発や冬期間の作物栽培など準備が進められてきました。これらの取組を中心に、観光と連携した農業体験ツアー、福祉と連携した農福連携に取り組み、さまざまな人々の交流の拠点となり、小清水町を全国へ発信していけるようセンターの運営をめざします。

アグリハートセンター

営業時間 9:00~17:00 (日曜・祝日休館)
☎(67) 5716

温泉熱利用型園芸ハウス

通年での農作物販売による収益確保のため、温泉熱を活用し冬期間も利用可能な園芸ハウスを2棟設置しています。



☆温泉資源の有効活用

町のエネルギー資源である温泉をセンターハウスの床暖房や給湯設備、歩道のロードヒーティング、園芸ハウスの熱源として有効利用することでランニングコストの低減とCO2排出量削減の取組みに寄与します。

お問い合わせ先

役場産業課農業振興係

☎(62) 4474